



まなぶ子 <笑顔で学びいっぱい>	やさしい子 <笑顔で思いやりいっぱい>	健康な子 <笑顔で元気いっぱい>
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着 ○自ら学ぶ力の育成を目指す授業づくり ○学ぶ楽しさを味わうことのできる教育活動の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○いのちと人権を大切に心した心の教育の推進 ○望ましい人間関係づくり ○うるおいのある教育環境づくり ○ふるさと教育・キャリア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○心身ともに健康で安全な生活習慣づくり ○目当てをもって取り組む体力づくり ○安全管理・指導の徹底
R6 学校評価(自己評価)における成果と課題		
<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の思いを相手に伝えることができた ○目当てを決めて家庭学習に取り組んだ ○人の話を聞くことができた △授業などで、自分の考えをノートにまとめた △分からないことは調べて解決しようとした 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分から笑顔で挨拶をした ◎相手の気持ちを考えて優しい言葉で話した ◎誰とでも仲良く助け合った ◎「ありがとう」「ごめんなさい」を言った ◎教師は、子供をよく理解しようと努めている ◎教師は、間違っただ行動に対し、適切な指導をしている ◎教師は、子供のよいところや頑張ったことをほめている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校に来るのが楽しい ○自分で決めたメディアの目当てを守った ○好き嫌いしないで、バランスよく食べた △早寝早起きなど、規則正しい生活習慣を心がけた
R6 学校運営協議会評価		
<ul style="list-style-type: none"> ◎できたときに褒める指導 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園でも指導していきたい項目の1つである。 ・「なぜそうすることが必要なのか」を自ら理解できないと、次の行動に移れない。 ◎外部講師の活用 <ul style="list-style-type: none"> →読み聞かせ(1・2年)、ミシン教室(5・6年)、昼なべ談義(6年)、地区探検(2・3年生) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「幼小接続」の更なる重要性→スタートアップカリキュラム <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶については、個人差がある。(特に「ごめんなさい」は素直に言いづらいようである。保育園でも同様。) →保育園では、言葉で伝える機会を作っている。 ◎ふるさとと関わる活動・学習の積み重ねが必要(企業見学等も検討) <ul style="list-style-type: none"> →地域探検ウォークラリーでの地域にある事業所訪問や史跡巡り(縦割り班活動、児童集会) ◎外部講師の活用 <ul style="list-style-type: none"> →福祉体験(4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎地区と一体となった防災訓練の検討(ペットと一緒に避難訓練もできないか) <ul style="list-style-type: none"> ・8月の経田地区防災訓練への小学生への参加を促したい。(6年生は、姉妹校交流で和田小訪問の時期のため、厳しい) ◎外部講師の活用 <ul style="list-style-type: none"> →栄養士等、健康に関する講師(学校保健委員会での実施も検討可能) ※保育園では、講演後、いつもより食べ残しが減った例あり 地区探検(3年):地区の消防設備